

報告書は、下記のようなイメージでホームページで公開されます。

2020-C-04

代表者 杉浦秀樹

代表者はこちらで入力します

タイトルは原則として申請時と同じものとして下さい。ただし、計画の変更があった場合には多少、変更したいてもかまいません

屋久島西部地域における中大動物の生態調査

報告書の著者が複数になる場合は、適切な方の名前を全員あげ、所属を記してください

杉浦秀樹、鈴木崇文、原澤牧子(京都大学・野生動物研究センター)、藤田志歩(鹿児島大学)、田中俊明(梅光学院大学)

名前(所属)「、」区切りが見やすいかと思いますが、ほかの書き方も可

屋久島・西部地域でのヤクシマザル、ヤクシカの基礎的な調査を継続して行った。2020年は、ヤクシマザルの出産は比較的、多かった。北部のサルの群れの行動域がひろがり、大きく移動していた。原因はよく分からないが、今後も注視していきたい。ヤクシカのセンサスでは、北部での減少傾向が続いていることが確認された。捕獲が行われていない状況でのヤクシカの減少が起こっており、興味深い。この結果を、学術雑誌に公表した。カメラトラップによる、ヤクシカ、ヤクザルの密度推定も継続して実施した。現在、解析を行っている。

本文を400字以内で。改行も可



湧き水を飲むサルとそれをじっと見るコドモ

写真や図と、その説明